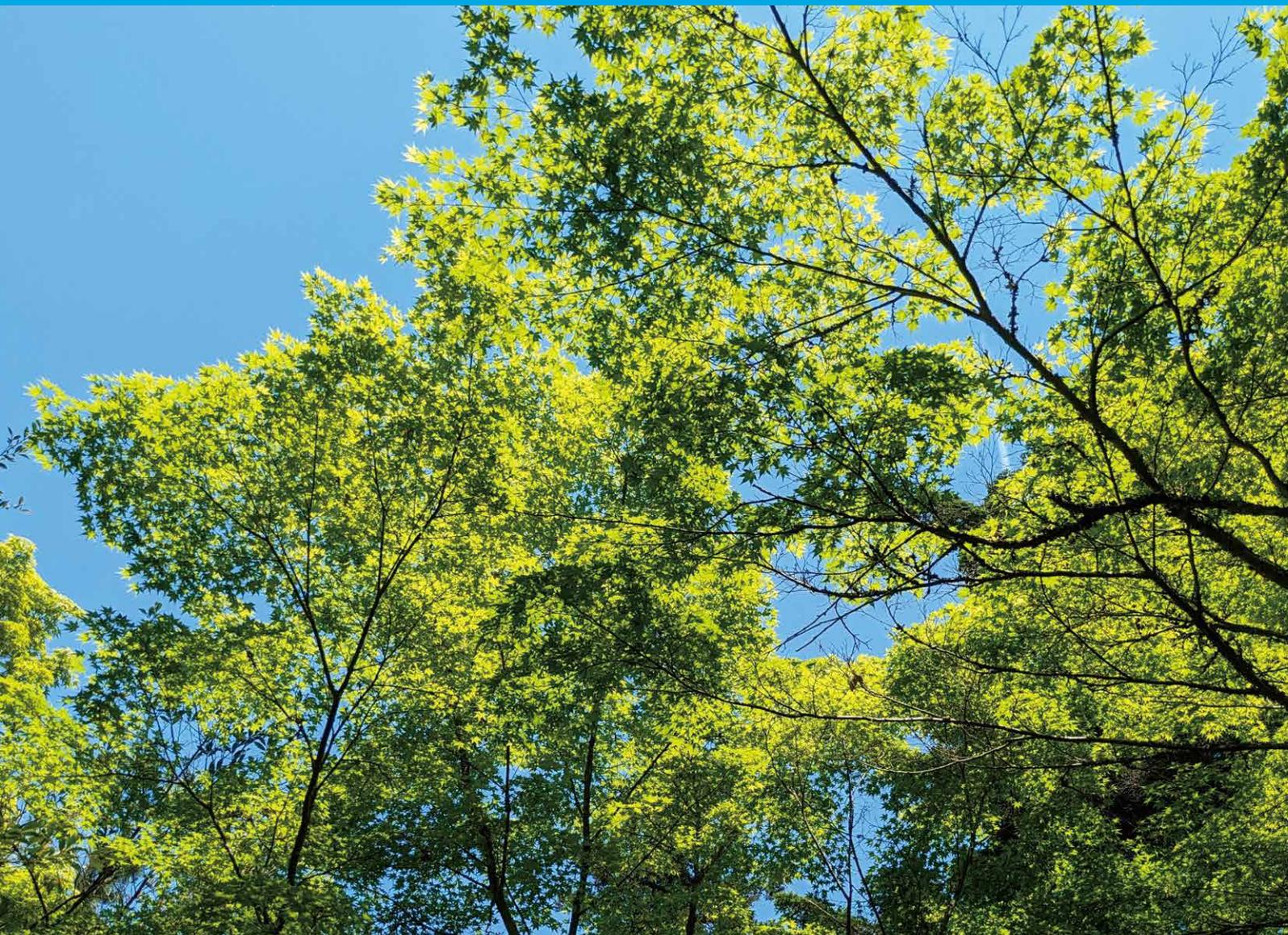


社会医療法人 清風会
法人だより

清風

夏号
2024年8月1日

vol.73



▲弥山の樹々（撮影：五日市記念病院 内科 俵正幸）



社会医療法人 清風会



五日市記念病院・廿日市記念病院は
（公財）日本医療機能評価機構の認定病院です

社会医療法人清風会 第8期に向けて



社会医療法人 清風会 理事長(五日市記念病院 院長) ^{むかだ} 向田 一敏

1991年に五日市記念病院を開設し、続いて2000年に廿日市記念病院を開設、そして2017年には社会医療法人化を果たしました。これまで広島市佐伯区や廿日市市を中心に医療を行って参りましたが、今日ここに至ることができましたのも、皆様方のご指導、ご支援のお蔭と感謝しています。誠に有難うございました。

この地域で役立つ医療を実践したいと思いつく理想とは未だギャップを感じていますが、微力ながら私共が対応可能な医療を提供して参りました。特にここ最近では、地域の高齢化が一層進む中、国の基本方針である地域包括ケアの一翼を担うべく努力しています。五日市記念病院では、救急医療、高齢者医療の基本となる内科、循環器内科、内視鏡外科、整形外科、そして在宅医療を充実させるべく、体制の整備と昨年来人員を拡充しました。また、廿日市記念病院では、回復期～維持期のリハビリテーション医療と緩和ケア、通所リハビリや訪問リハビリを継続しています。

勿論、開設の源流である脳神経外科については、手術を含め高水準の脳外科医療を提供するべく精進しています。更に、2016年に導入した血液内科は、特に骨髄異形成症候群や白血病領域で良好な治療成績をあげています。

社会医療法人清風会第7期下半期 (2024年1月～2024年6月)を振り返って

①五日市記念病院

- 2023年の手術総数は461件(胃瘻造設、内視鏡下手術を含む)でした。その内、脳外科手術は335件(内、脳血管内手術 144件)でした。
- 1月から脳卒中ケアユニット(SCU)6床を再開しました。新型コロナ感染対応のため、中断していましたが、再開後は連日満床状態で運用しています。
- 昨年11月から一般・急性期病床を8床増床しましたが、

その後の内科、外科、整形外科系救急の受け入れが円滑化し、2月以降の病床稼働率は90%を超える状況が続いています。開院後初めての180床満床の日も経験しましたが、救急受け入れに支障をきたすため、病床管理をもっと円滑に行う体制を整備する必要があると感じています。

- 新入職医師の紹介:4月 内科系医師が入職しました。循環器内科/山本秀也医師、神経内科/みやざき裕子医師、総合内科/俵正幸医師、消化器内科/松尾順子医師、初鹿佳輝医師、三田村祐里医師の計6名です。いずれの医師もそれぞれの専門分野において積極的に診療を行っています。
- 退職医師について:3月末を以って、内科/藤田順子医師が退職しました。2006年に入職して以来、消化器外科医としての豊富な経験を持つ異色の内科医として活躍してくれました。今後は、非常勤医として週1日の外来と大腸CT検査を担当します。

更に、6月末を以って、1998年に入職し副院長として勤務してくれました内科/土井謙司医師、そして、2007年に入職し内科医として勤務してくれました黒木ゆり医師が、いずれも定年退職となりました。黒木医師は、週1日の外来診療を担当します。

- 在宅診療支援センターの開設:訪問医療と訪問看護を総括し、効率的な運営をするため、在宅診療支援センターを設置しました。患者さんとより緊密な関係性を築きながら、サービスの拡大へ繋がるものと考えています。

②廿日市記念病院

- 1月下旬から新規MRIの入れ替え工事を開始し、3月1日から稼働しました。AI搭載の超電導MRI(1.5テスラ)で、鮮明な画像と検査時間の短縮が得られ、静音装置による快適な検査環境下で検査を実施しています。

社会医療法人清風会第8期

(2024年7月～2025年6月)に向けて

①五日市記念病院

- 地域包括医療病棟の導入と病床再編：今回の診療報酬改定において、国の方針である地域包括ケアシステムの構築に向けて【地域包括医療病棟】の制度が新設されました。7月から47床を地域包括医療病棟に変更し、それに併せて回復期リハビリテーション病棟を40床に減床しました。
- 心臓リハビリセンターの新設：慢性心不全などの心疾患の有病率が高い高齢患者さんが増加する中、適切で安全なリハビリや在宅指導などを行うため、心臓リハビリテーションが重要と考え、6月から心臓リハビリを開始しました。7月からはチームで効率的に運用するため、センターとして活動していきます。センター長は循環器内科の山本秀也医師です。
- 在宅診療支援センターの新設：高齢化が進む中で、在宅医療の重要性は一層増してくると考えます。センター長は神経内科のみやざき裕子医師です。
- 内科科長の交代：7月から松尾順子医師が内科科長を担当します。若手の初鹿佳輝医師、三田村祐里医師と共に肝・胆道系疾患や消化管疾患を中心に、超音波・内視鏡検査も含め、内科系疾患全般での診療を積極的に行っています。非常勤ですが、4月から田利晶医師も上部消化管内視鏡検査を含め、週2回外来診療を担当しています。

②廿日市記念病院

- 緩和ケアの充実と病床再編：廿日市市域を中心に、緩和ケア対象患者さんの受け入れを緩和ケア病棟で行って参りました。しかしながら、入院予定患者さんの待機期間が長いことは問題であり、できるだけスムーズな受け入れができるよう、病床再編による緩和病床の増床を行う予定です。
- 新規MRIの活用：3月1日から新しい超電導MRI(1.5テスラ)を稼働しています。4月以降、脳ドック受診者の増加もあって、検査件数は増加していますが、まだ十分に余裕がございますので、脊椎検査などを含め、どんどん検査紹介をいただきたいと思います。

③法人全体

- DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進：業務の改善や効率化を推進するため、DX導入の準備を積極的に進めます。
- 病床再編の実施と運用：前述のとおり、五日市記念病院、廿日市記念病院ともに病床再編を行います。両院間の連携パスを強化するなどして、清風会病院としての円滑な運用を推進します。
- 周辺医療機関や施設との更なる連携の強化：当法人の病床再編や在宅医療の推進に伴い、この地域の医療機関や介護関連施設との連携を一層強化するべく注力したいと考えます。

少子化に向けてDXの推進

1年前の本誌でも述べましたが、日本の少子化は重大な社会問題として認識されています。2022年の日本人の出生数は77万2千人と、統計開始後初めて80万人を割り込みました。そして、昨年2023年は72万7千人と、前年より更に4万5千人も減少しています。既に運輸業界では、運転手不足のためにバスやトラックの減便が現実化していますし、通院のためにタクシーを予約したくても、運転手不足のため予約を受け付けてもらえず、通院に支障をきたす高齢の患者さんの話も日常茶飯事となっています。医療・介護の領域においても、その担い手となる若い人たちの確保は困難になってきており、今後、加速度的に雇用状況が悪化してくることは容易に予測されます。

そのような状況下で、医療界においても今後の働き手不足に備えての対策を早急に講ずる必要性を強く感じています。今春から始まった『医師の働き方改革』についても、他職種へのタスクシフトやワークシェアリングを進めることも提案されていますが、医療・介護従事者全体が減少する近い将来において、人から人へのタスクシフトには限界が出てくると思います。その対応策として、業務を効率化し、人の手による業務かどうかを分析して仕分け、人に替わるデジタル技術の力を如何に活用してDXを推進していくかが重要な鍵であると考えます。

更に、地域医療においては、限られた医療・介護人材をその地域で有効活用して包括ケアシステムを運用するために、他の医療施設や介護施設と緊密に連携をとる体制(地域連携推進法人の導入など)を造るなど、前向きに検討する必要がありますと考えています。

廿日市記念病院を多くの人に 知っていただくために



廿日市記念病院 院長 茶木 隆寛

社 会医療法人清風会として第8期を迎えることとなりました。身内のことではありますが、清風会の職員の皆さんに、おめでとうございますと言わせて頂こうと思いません。診療報酬改定や物価上昇の折、何とか経営を続けてゆけていることは大変貴重なことであり、患者さんはもちろんですが、関係各位の皆様には書面をお借りして大いなる感謝を申し上げる次第です。

今後ともよろしく願いいたします。

さて2023年7月に廿日市記念病院の院長となり1年が過ぎました。職員の皆さんの協力により何とか日々をこなしている状況です。その中で何とか経営を続けて行くことに全力を尽くしております。また、廿日市記念病院を少しでも多くの人に知って頂くべく、できるだけ色々な会議には出席させて頂き、先日はFM廿日市にも出演させて頂きました。その中では廿日市記念病院で行っているリハビリについて、また緩和病棟についてもお話をさせて頂きました。現在も「健康ラジオ カルム～延ばそう！健康寿命～」という番組を毎週月曜日の11時から11時半に清風会がスポンサーとなり放送しております。廿日市記念病院と五日市記念病院での診療やリハビリについて分かりやすくお話をしていますので、是非一度聞いてみてください。また、FM廿日市のホームページでは過去の放送分も聴取することができますのでお聴き頂ければと思います。

また、来る10月27日には、廿日市記念病院をより知って頂くために「地域感謝祭」と題して、体験コーナーや相談コーナー他の催しをさせて頂こうと計画しております。福祉車両の試乗コーナーや緩和ケア病棟のオープンホスピスの企画もありますので、正式に決定をしたときにはご案内をさせて頂きます。多数ご参加をお願いいたします。

この1年間で最大の事業として、新しいMRI検査機器を

導入しました。より短時間に鮮明な画像を撮ることが可能となり症例数も徐々に増やしているところではありますが、廿日市地域ばかりでなく広く御紹介をいただければと考えております。即日の検査にもできる限り対応させて頂こうと考えていますので、御紹介のほどよろしく願いいたします。それに関連して脳ドックにも更に力を入れて行こうと考えております。正確な診断と可能な限り迅速な結果送付を行うべく改良を行いました。御指示頂ければ詳しい説明をさせて頂きますので御命じください。

さて本年6月に診療報酬改定というものがありません。国としては支出を抑えたいところであり、結局はマイナス改定となりました。その中で廿日市記念病院の経営を何とか続けて行くためには、JA広島総合病院を始めとする医療機関からの紹介が生命線となります。回復期リハビリ病棟、緩和病棟、療養病棟での受け入れをできるだけスムーズに行うべく努力をして参りますので、引き続いての御紹介をよろしくお願い申し上げます。緩和病棟に色々な事情はありますが、可能な限り早期の入院対応を行うべく改善を行って参ります。

今後ともご紹介をよろしくお願い申し上げます。

皆様のご健康をお祈りいたします。



▲ 地域のイベント「はらどろんこバレー」に、廿日市記念病院チームが参加！

■ 入職のご挨拶

専門は「肝臓」とくに「ウイルス性肝炎」です。

五日市記念病院 内科 **松尾 順子**



専門は「肝臓」とくに「ウイルス性肝炎」です。薬がよくなりウイルス性肝炎の患者さんは激減しました。とても幸せなことです。もしまだ治療を開始していない方がおられたら、お気兼ねなく肝臓専門医にご相談ください。五日市はクリニックが充実しております。

広島大学での学位テーマはB型肝炎ウイルスの変異です。ウイルスの遺伝子型で病態が違う事は当時は驚きでした。その後ご縁で広島大学疫学・疾病制御学の助教として田中純子教授のもと、肝炎ウイルスの疫学、治療などの厚生労働省班会議に参加し、学会とは違う医学研究の政策への関わり、根拠となる学術データの作成、医学統計の真偽など勉強し、それは臨床でも「エビデンスとは」と考える基本となりました。コロナ流行時、広島通信病院勤務時代も大学に籍を置き、海外からの大学院生たちを手伝いました。肝炎ウイルス解析の手技を使い、広島でのコロナウイルスの

株はなにか、変遷はどうか、系統樹解析ではどうかなどの研究です。ウイルスはとても難しい相手です。

さて私は当院で一般内科をしております。臨床へもどり、通信病院で日本内科学会の総合内科専門医を取得しました。内科全科が必要なので、肝臓の専門医ピラミッドを登ったあとでは大きな難関でした。呼吸器や循環器はまだしも、「腎臓」「神経」「血液」「膠原病」など、猛勉強が今の大きな後ろ盾となりました。ご紹介いただく方、救急車搬送の方、外来は玉石混交、重症も軽症も同じように電カルにならび、「当院で対応出来る」「あなたはあちらの病院へ」「あなたは内科ではないので他科へ」と交差点で交通整理をしています。肝臓専門医ですが、総合内科専門医、消化器病専門医、内視鏡専門医です。フットワークのよい病院ですからチームとして他科ドクターとも相談して対応が出来ます。是非ご活用ください。

循環器病の予防を見据えて！

五日市記念病院 循環器内科 **山本 秀也**



2024年4月に五日市記念病院循環器内科に入職しました山本秀也です。1988年に広島大学を卒業後、広島大学病院をはじめとした病院や教育研究機関に従事してきました。私はこれまで、循環器内科の領域のうち冠動脈疾患や心不全を中心とした診療を行ってきました。今後の診療面での抱負を述べたいと思います。

1. 冠動脈CTは私のライフワークです。冠動脈CTの最も優れた点は、血管の狭窄を見つけるのみではなく、カテーテルでは評価できない冠動脈壁の情報を評価可能なことです。当院にも早い時期から320列CTが導入され冠動脈の検査が行われています。この分野をさらに発展させ、冠動脈疾患の早期発見・予防治療に繋がるように努めたいと思います。

2. 心臓リハビリテーション(心リハ)を軌道に乗せたいと思います。心疾患患者にとって運動療法やその指導は治療の根幹となるものです。当院にはリハビリ部門が充実してい

ますが、新たな心肺運動負荷試験を導入し、心臓リハビリの拠点施設となれるよう努めたいと思います。ところで、心臓病の予防や再発防止には適切な運動療法の導入に加え、リスクファクターの是正や患者の社会的・生活的要因へも介入が必須であり、「包括的心リハ」という概念が広まりつつあります。すなわち、心リハは予防医療であり、重要性はさらに増すと思います。

最後に、高齢化社会になり動脈硬化性疾患や多くの併存症を有した心血管病患者が急増しています。目の前の患者さんの診療に真摯に向き合わねばなりません。一方で将来の病気の発症予防にも努めたいと思います。心臓は血管を通じて全身に繋がっていることから、「循環器を診ることは即ち全身を診ることである」と考えて臨床に取り組んできました。地域の皆様に信頼されるよう益々精進したいと存じます。今後ともどうかご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

お会いできる患者さんにこれまでに 身につけた知識や能力で お返しをしていきたい。

五日市記念病院 内科 俵 正幸

令 和6年4月1日付、五日市記念病院に入職いたしました、内科の俵(たわら)と申します。平成5年に長崎大学の血液内科に入局、長崎県内の血液内科に勤務した後、この12年間は故郷である国境の島・対馬で内科一般を受け持っておりました。還暦を迎え、離島の医療を守る真面目な仲間たちから赤いチャンチャンコで祝ってもらいながらも、勢いのある若手達に負けまいと勉強するのめだいぶきつくなってきたなと転職を決め、ご縁あって広島に迎えて頂きました。



▲ 弥山からの島々

前職では、ご高齢者の肺炎、心不全(難しい)、脳卒中の保存的加療(t-PA・血栓回収など積極的な治療時は長崎・福岡の基幹病院にヘリ搬送)、高血圧、糖尿病など自身の専門性とは少し距離を置きながら、離島医療の一端を担わせて頂きました。このたび五日市記念病院にも内科一般として採用いただき、現在日々の外来(廿日市記念病院にも外来枠を頂き)、病棟、NST回診などに携わっております。広島県/市医師会、佐伯区医師会にも加えて頂きました。定例会では早速母校の2年上の先輩にお声かけいただきました。職場にも優秀な後輩(いつの間にか母校は共学になっており)を見つけ、心強いです。

島では対応が難しかった脳疾患の治療を高度なレベルで実施できる病院に勤務することになり、根拠は無いものの何か誇らしい気分で、内科医としても安心感は大きいです。ただ、自分としては、できれば(できれば…)あまり無理はせずに、自分をなくさないペースで、お会いできる患者さんにこれまでに身につけた知識や能力でお返しをしていきたいと思っています。もちろん医師会が提供される様々なアップデートセミナーには時間を見つけて参加します。

広島は、広くて、きれいで、食べ物も美味しいです。そこは、いつも私の気まぐれな決断につきあわされる妻にも褒められており、感謝しております。何卒よろしくお願い致します。

五日市記念病院 神経内科 みやざき 裕子

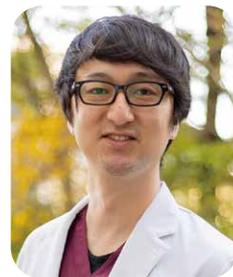
2 024年4月に五日市記念病院 神経内科に入職いたしました、みやざき裕子と申します。

皆さんの認知機能、運動機能の維持に役に立てるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



▲ 五日市記念病院 フラワーアレンジメント

患者さんへの 丁寧な説明や対応を心がけます。



五日市記念病院 消化器内科 **初鹿 佳輝**

2 024年4月から五日市記念病院に非常勤医師として入職しました、消化器内科医師の初鹿佳輝（はつしか よしき）と申します。私は広島大学附属福山高校を卒業後、2017年に広島大学医学部を卒業し、初期研修をJA広島総合病院でお世話になった後に広島大学消化器内科に入局し、後期研修を広島赤十字・原爆病院消化器内科でお世話になりました。その後は広島大学病院、広島記念病院で消化器内科診療医として勤務し、2024年4月から広島大学病院消化器内科大学院に入学し、週3回（月・木・金）五日市記念病院に勤務させていただくことになりました。大学院では主に食道に関する研究をしており、論文作成や学術発表をしています。

五日市記念病院では主に内視鏡検査（一部治療）、腹部エコー検査をさせていただいております。当院で可能な検査・治療（上部消化管内視鏡検査・大腸内視鏡検査・大腸ポリープ切除など）をさせていただいておりますが、出血や消化管穿孔の高い治療・処置（ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）やERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）など）が必要な患者さんに関しましては患者さんご相談し対応可能な病院にご紹介をさせていただきます。まだまだ勉強中の身であり患者さんや近隣病院の先生方にはお手数・ご迷惑をおかけする場面も多々あるかと存じますが、患者さんへの丁寧な説明や対応を心がけて日々の診療をさせていただきますので、何卒よろしく申し上げます。

がん予防と早期発見に貢献できるよう、 できる限り痛みの少ない検査を 心がけます。



五日市記念病院 消化器内科 **三田村 祐里**

2 024年4月より五日市記念病院に勤務させていただいております、消化器内科の三田村祐里と申します。私は愛媛大学を卒業後、広島で初期研修を2年間行い、その後に広島大学消化器内科に入局しました。

現在、非常勤医として週3回の外来での内視鏡のスクリーニング検査・腹部超音波検査と、入院にはなりますが内視鏡を用いた大腸ポリープ切除をさせていただいております。

日本における胃癌や大腸癌による死亡者数は癌種別で共に上位となっていますが、胃癌や大腸癌は定期的な検診

で早期に発見することにより、内視鏡手術で治せる時代となっています。しかし、内視鏡検査は苦しい、痛いというイメージがあり、検診のハードルが高く、進行した状態でみつける患者さんがいまだに多いのが事実です。当院では苦痛を軽減できる鎮静剤を使用し、内視鏡検査を受けることが可能です。たくさんの方々の癌予防と早期発見に貢献できるよう、できる限り痛みの少ない検査を心がける所存です。

どうぞよろしく願いいたします。

消化管の疾患の診療を 専門としています。



五日市記念病院 消化器内科 田利 晶

2 024年4月から非常勤で勤務しております消化器内科医です。

広島大学医学部医学科を卒業後第一内科(現在の消化器内科)に入局し、第一内科助手を経て広島赤十字・原爆病院にて勤務しておりましたが、2019年3月をもって定年となり、この度五日市記念病院にて勤務させていただくこととなりました。

消化器内科の診療分野も多岐にわたりますが、消化管の疾患の診療を専門としています。消化管に発症する腫瘍性病変(食道癌、胃癌、大腸癌、リンパ腫)や炎症により生ずる様々な疾患(逆流性食道炎、好酸球性消化管疾患、潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患)、消化性潰瘍を、内視鏡検査を中心に血液検査、腹部超音波検査、

CT scan、PET-CTなどの様々な検査を用いて診断し、患者さんご本人に説明しご相談・同意を得た上で治療を実施させていただくこととなります。また消化性潰瘍や胃癌のみで無く様々な疾患を発症する原因として周知されていますピロリ菌の除菌治療についてもご相談いただければと存じます。

内視鏡検査は上部消化管内視鏡検査を担当しております。来院いただく際ご自分で車の運転が出来ないなどの制限はありますが、検査に伴う苦痛が強い方は年齢に応じて安全に行うことが可能な適切な鎮静下での精度の高い検査を心がけておりますのでご相談いただければと存じます。

大腸肛門外来開始



五日市記念病院 外科 日本大腸肛門病学会認定指導医・専門医 亀田 彰

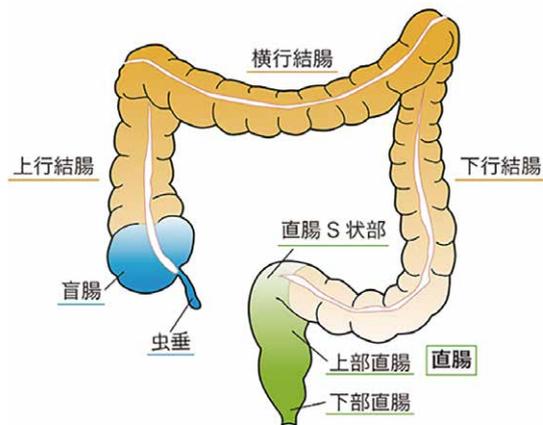
肛門と聞いてわからない人はまずいないと思いますが、大腸はパツとイメージできない方が多いのではないのでしょうか？

図にあるように、お腹の端の方にある約1.5mの臓器で、その部位により虫垂、盲腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸と呼ばれます。直腸の続きが肛門です。

大腸は主に便を作っているわけですが、その便が出ていくところが肛門です。肛門は眼の次に敏感なところであるとも言われており、ガスと便や下痢便と普通便を私たちは感じ分けているわけですが、敏感であるがゆえに痛みを強く感じたり、不快感や違和感を鋭敏に感じやすいところでもあるのです。

肛門の代表的な病気としては、痔核(イボ痔)・裂肛(キレ

痔)・痔瘻がありますが、人には相談しにくい場所でもあり、つつい病院に行くのをためられる方が多いかもしれませんが、便やお尻のことで悩んでいる方は、遠慮なく気軽に受診していただければと思います。



五日市記念病院で 多発性骨髄腫 (Multiple Myeloma)、 MMの治療ができます！



五日市記念病院 血液内科 許 泰一

科 学の進歩が医学の分野に大きく貢献していることは多くの診療分野で見聞きされます。基礎医学の分子レベルの研究が成果をあげ日常診療に大きな変化をもたらす。夢が現実になることです。極めて専門的な知識と経験を持たなければ診断そして的確な治療ができない疾患も、革命的な薬剤が出てくれば基礎的な知識と経験さえあれば納得の診療ができるようになります。骨髄腫の診療もその内の一つです。

多発骨髄腫 (MM) は骨髄で異常な形質細胞が出現し増加する造血器悪性腫瘍です。癌化した形質細胞がM蛋白という異常な免疫グロブリンを大量につくり出します。そのため進行すれば高Ca血症 (C) 腎障害 (R) 貧血 (A) 骨病変 (B)、いわゆるCRABという臓器障害を引き起こします (症候性骨髄腫)。MMは日本では人口10万人あたり年間約5人が発症します。高齢者に多く被曝者にも多く見られます。M蛋白だけ見られてCRABの臓器障害をおこさず長期間元気に経過するだけの方も多く見られます (無症候性骨髄腫)。臓器障害がみられ骨髄での異常形質細胞が多くみられる症例には様々な治療が可能です。

五日市記念病院の血液内科にはこの1年間で8人の無症候性骨髄腫と3人の症候性骨髄腫の方が受診しました。私は白血病関連の治療は熟知していますが、MMに関して診断はともかく治療に関しては研修医レベルです。MMの治療では日本のトップランナーの広島赤十字・原爆病院血液内科の板垣充弘先生の指導を仰ぎ多くの貴重な教えを受けました。無症候性骨髄腫の方は3~4ヶ月に1回外来受診し病状の進行の有無を調べ全員安定しています。症候性骨髄腫の2人の染色体検査は予後不良群で全身に多発性骨折があり入院で、骨病変のない1人は外来で治療を行いました。3人とも完全寛解になり現在は全員外来で治療を継続しています。治療は骨髄腫細胞の表面に多く存在する

CD38の抗原に対するヒト型CD38モノクローナル抗体にヒアルロン酸分解酵素配合剤のダラキューロにサリドマイド関連薬のレブラミドにステロイドのレナデックスを併用しました。抗体療法につきものの血清反応がヒアルロン酸分解酵素のボルヒアルロニダーゼアルファの使用で大量皮下注射が可能になり血清反応が格段に減少しました。入院の1人はレブラミドをポマリスト (サリドマイド関連薬) に変更し部分寛解から完全寛解になりました。板垣先生推奨の本療法は大きな効果がみられるのに副作用が軽微で高齢者や従来の化学療法が困難なフレイルな症例にも安心して使える有用な治療と思われます。MMには他にも多様な治療法が開発されており基礎研究と臨床応用が上手く行っている造血器悪性腫瘍の治療の中でも特筆される分野と考えます。広島赤十字・原爆病院からの応援もあり五日市記念病院血液内科外来はほぼ毎日オープンしています。気軽にご紹介ください。



▲ 血液内科 化学療法室

赤ひげ功労賞を受賞して

社会医療法人 清風会 前理事長 梶原 四郎



日本医師会 赤ひげ大賞、功労賞とは？

日本医師会と産経新聞社が主催となり、「地域の医療現場で長年にわたり、健康を中心に地域住民の生活を支えている医師にスポットを当てて顕賞すること」を目的として、平成24(2012)年創設されました。候補者は「病を診るだけではなく、地域に根付き、その地域のかかりつけ医として、生命の誕生から看取りまで、さまざまな場面で住民の疾病予防や健康の保持増進に努めている医師」が対象とされ、各都道府県の医師会からの推薦を受け、多職種の選考委員の厳正な協議を経て、受賞が決定されます。

赤ひげ功労賞の受賞

平成3(1991)年7月開設の五日市記念病院での脳神経外科を中心とする救急への対応や、平成12(2000)年6月開設の廿日市記念病院での365日のリハビリテーションと

広島県西部地域での唯一の緩和ケア病棟など、病院開設時からの理念である「社会に望まれる医療」の実践と継続が評価され、広島県医師会から推薦を受けました。今回で12回目となり、令和6(2024)年3月1日に赤ひげ大賞5名、赤ひげ功労賞14名が表形式を迎え、赤ひげ功労賞を受けることになりました。

受賞は私個人になりましたが、社会医療法人清風会が地域で活かされ、職員全員が理念を理解し、日常の医療を続けて来た結果であり、職員全員が受賞者であると考えています。

おわりに

「清風」vol.72でも述べましたように、急速に変化する社会にあっても法人の理念である「社会に望まれる医療の実践」を守りつつ、既存を変えることを恐れず、社会貢献が出来る「社会医療法人清風会」であり続けて欲しいと願っています。

五日市TOPICS

DPC制度への参入について

診療情報管理課 林 清美

五日市記念病院は、2024年6月に厚生労働省の認可を受け、DPC対象病院となりました。

DPC(Diagnosis Procedure Combination)とは急性期一般病棟(当院では3階病棟)を対象に、入院中の病名、主な治療行為ごとに定められた入院料を算定する制度です。

定められた入院料とは、厚生労働省が全国のDPC対象病院から収集した、病名、治療内容等のデータから全国平均値を基本として算出した評価入院料です。

その評価入院料には、投薬、注射、処置、検査、画像診断等の費用が包括されます。つまり、どの病院で治療しても、全国平均の治療費で治療が受けられることになります。

以前、入院患者さんからお支払い時に言われたことがあります。「自分は大きな治療は受けていないし、ベッドに寝ているだけ

で看護師さんの手を煩わせることはなかった。同室の患者さんは重症で看護師さんがずっとお世話をしていた。こんなに対応が違うのに同じ入院料を払わないといけないのか。」と。

患者さんの目線で考えると、適正で必要な治療を受け、それに合った対価を支払いたいということではないでしょうか。

少子高齢化が進む我が国の医療費の高騰という現実を見た時、DPC制度は医療の質を保ちつつ無駄のない効率的な医療を追及し、医療の平準化を図ることで、より多くの患者さんに適正な入院医療を提供することにつながり、持続可能な医療制度となるのではないかと考えます。

当院は「社会に望まれる医療の実現」を理念として、全国平均レベルを超える医療の提供を常に目指し、DPC制度へ参入してまいります。

五日市記念病院の病棟再編について

事務部 青木 昭雄

前72号の「清風」の誌面でも、まったく同じタイトルで紹介させていただきましたが、今回も同じタイトルで紹介させていただきます。今年の6月に施行された診療報酬改定では、当院のような中小の急性期病院への締め付け(具体的には、平均在院日数の短縮や看護必要度の強化)がさらに厳しくなり、急性期病床を諦める病院があるとも聞いています。

ですが、当院の置かれている状況としましては前号でも説明させていただいたように、高齢化が急速に進むなか救急搬送数は激増していき、大変な荒波に抗うこととなりますが、急性期病床の増強を行いつつ診療報酬制度に即して病棟再編を行いました。(図1)

【図1】最近の病棟編成の変遷

2020年4月から (2階地ケア導入)		2021年1月から (2階一般病床化)		2022年9月から (コロナ病床運用開始)		2023年11月から (病棟入替コロナ廃止)		2024年7月から (本4地域包括医療導入)	
病棟	入院料	病棟	入院料	病棟	入院料	病棟	入院料	病棟	入院料
2階病棟 40床	療養12床 + 地ケア28床 (13:1)	2階病棟 40床	急性期12床 + 地ケア28床 (7:1)	2階病棟 40床	急性期12床 + 地ケア28床 (7:1)	2階病棟 40床	回復期リハ1 体制強化 40床 (13:1) 2024年6月~	2階病棟 40床	回復期リハ1 体制強化 40床 (13:1) 2024年6月~
3階病棟 60床	急性期一般 入院料1 (7:1)	3階病棟 60床	急性期56床 (7:1) + SCU4床 (3:1) 2022年2月~	3階病棟 60床	急性期一般 入院料1 60床 (7:1)	3階病棟 60床	急性期54床 (7:1) + SCU6床 (3:1) 2024年1月~	3階病棟 60床	急性期54床 (7:1) + SCU6床 (3:1)
本館 4・5階 47床	回復期 リハビリ3 (15:1)	本館 4・5階 47床	回復期 リハビリ1 (13:1) + 体制強化 2020年11月~	本館 4・5階 47床	回復期リハ1 体制強化 (13:1) 内 コロナ3床	本館 4・5階 47床	急性期20床 + 地ケア27床 (7:1)	本館 4・5階 47床	地域包括医療 (10:1)
新館4階 33床	回復期 リハビリ3 (15:1)	新館4階 33床	回復期 リハビリ3 (15:1)	新館4階 33床	回復期 リハビリ1 (13:1) 2023年3月~	新館4階 33床	回復期 リハビリ1 (13:1)	新館4階 33床	地域包括 ケア2 (13:1)

今回の再編の中心は、回復期リハビリテーション病棟を2病棟から1病棟に減少させ、今回の診療報酬改定で新たな特定入院料として制定された、地域包括医療病棟を導入したことと、一般病床の一部としていた地域包括ケア病床を病棟単位の運用に切り替えました。

これにより、血液内科と脳神経外科を中心とした高度～中度の救急は急性期一般病棟(SCU及び3階病棟60床)、内科・整形外科を中心とする中度～軽度の救急は地域包括医療病棟(本館4・5階病棟47床)、軽度を中心とする高齢者救急は地域包括ケア病棟(新館4階病棟33床)と救急

受入病棟が3病棟140床で運用することとなり、2020年3月以前の60床から大幅に増床することが出来ました。

しかしながら、診療報酬改定のたびに複雑化する診療報酬体系の中、すべての病棟で異なる施設基準の下運用を行わなければならない、非常に高度な病床運営が課せられます。(図2)

運用開始からしばらくは、皆様にご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、これからも地域医療に貢献するため取り組んでまいりますので、引き続き、ご指導ご協力を賜れば幸いです。

【図2】病棟毎(SCUを除く)の主な施設基準一覧

種別	急性期一般(DPC)	地域包括医療	地域包括ケア	回復期リハビリ
病棟	3階病棟	本館4・5階病棟	新館4階病棟	2階病棟
病床数	54床(内無菌室19床)	47床	33床	40床
入棟期間	平均16日以下	平均21日以下	60日まで(40日超過減)	90日(一部60日)
看護必要度	A3・C1点以上20%以上 A2・C1点以上27%以上	初日B3点以上50%以上 A3・A2B3・C1点以上15%以上	A1・C1点以上8%以上	日常機能評価10点以上40%以上 上記退院時4点以上改善30%以上
救急搬送受入	-	15%以上 (3階病棟からの転棟5%未満※) ※短期滞在手術適応患者除く	予定外入院:3ヶ月で9人以上 (在宅からの直接入院20%以上)	-
在宅復帰率	80%以上	80%以上	72.5%以上	70%以上
在宅対象施設	在宅、介護医療院、 老健を含む介護施設、 回リハ・地ケア・療養病棟	在宅、介護医療院、 在宅復帰強化型老健、 老健以外の介護施設、回リハ病棟	在宅、介護医療院、 在宅復帰強化型老健の1/2、 老健以外の介護施設	在宅、介護医療院、 老健以外の介護施設
算定可能	手術・輸血	○	○	×
	千点以上の処置	○	○	×
	検査・画像	×(内視鏡などは可)	×(内視鏡などは可)	×
	投薬・注射	×	×(抗悪性腫瘍剤等は可)	×
	リハビリ	○	○(ADL低下5%未満)	×
			×	×(抗悪性腫瘍剤等は可)
			×	×(抗ウイルス剤等は可)
			×	○(実績指数40以上)

在宅診療支援センター 開設について

これまで、認定栄養ケアステーション(2022年4月)、訪問看護ステーション(2023年2月)、訪問診療(2023年11月)を開設し、それぞれが独自で動いておりましたが、2024年5月13日より、この3つの部門を統合し在宅診療支援センターを開設いたしました。

まだ、立ち上げて間もないセンターですので、ご迷惑をお掛けするとは思いますが、在宅医療・介護を必要とする方々が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るよう、これまで以上に努力してまいりますので宜しくお願いいたします。

訪問診療

理学療法士 中川 敬久

訪問診療は、通院が困難な状態である患者さんが、自宅などの居宅で療養を希望する場合、居宅に訪問させていただき診察を行うことをいいます。

これまで、五日市記念病院では、救急医療、入院医療の役割を主に担っておりましたが、新たに訪問診療をおこなうことで、これまで以上に患者さんが望まれる医療を提供出来る体制となりました。実際に訪問診療を開始した患者さんの多くは、医師が自宅で診療してくれることを大変喜ばれております。広島市の報告によると、訪問診療のニーズが高い85歳以上の方は、2020年度よりも2030年度は1.4倍程度の2万9,000人程度とニーズが増えると予測されています。

当院においても、地域の方々の在宅医療を支える体制を作ることは「地域に望まれる医療」の実現のためにも必須の状況ともいえます。在宅生活にご不安のある方々、医師がご自宅にうかがう訪問診療をご検討いただければと思います。

訪問看護ステーション

看護師 石津 のり子

「家で過ごしたいに決まっているじゃない。でも家族に迷惑かけたくない、この状態で家で過ごすのは無理だと思う。」と言った声はよく聞きます。独居、老々介護、認知症など在宅で過ごしたいが、それが出来ない時代背景になっています。

私たち、訪問看護では、“その人らしく”を大切に、本人や御家族が、不安なく、安全に過ごしていけるよう少しでも、お手伝いさせていただきたいと思っています。

認定栄養ケアステーション

管理栄養士 磯部 朋美

「認定栄養ケア・ステーション」は、地域の皆様の毎日の食・栄養について管理栄養士から直接的にサポートを受けることが出来る地域密着型の拠点として、日本栄養士会から認定されている施設のことで、全国の都道府県に545カ所の拠点があり、広島県内には12カ所の事業所があります。当院は、2022年に広島県の医療機関で初の認定を受けました。

現在、広島市短期集中予防支援訪問サービスや個別栄養相談、公民館での介護予防講座や企業・自治体向けのセミナー・研修会の講師なども行っております。

食事でお困りのことがございましたら当院「認定栄養ケア・ステーション」へご相談ください。

健康と健口 ～口の元気は体の元気～

廿日市記念病院 通所リハビリテーション 森山 潤一

今回の介護報酬改定の重要なポイントとして、リハビリテーションのアセスメントに合わせて栄養・口腔のアセスメント情報を関連職種間で共有し、計画の見直し、各ケアを実施するという一体的なサービスの提供が求められることとなりました。高齢者の自立支援・重症化防止について「栄養」が重要な役割を果たすことが評価され、より効果的な取り組みするために「リハビリテーション」や「口腔分野」の専門職との連携が重要とされました。

最近よく「お口の健康から全身の健康へ」というフレーズを目にします。その中に「フレイル」「オーラルフレイル」という言葉を目にされた方も多いと思います。

人は歳を重ねるにつれ、徐々に心身の機能が低下し、日常生活自立度の低下を経て介護が必要な状態になっていきます。この要介護に至るまでの前段階ともいえる、心身の機能の顕著な低下を「フレイル」と呼びます。つまり、「フレイル」とは、健康な状態と要介護の状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のことを指します。

口の衰え「オーラルフレイル」は身体的、精神的、社会的な健康と大きな関わりを持っています。噛む力や舌の動きの低下が食生活に影響し、滑舌が悪くなることで人や社会との関わりを減少を招くことなど、全体的なフレイルとの深い関係性が指摘されています。そのため、口腔機能の衰えは老化の早期の重要なサインとされています。

以下のうち、3つ以上自覚症状があるときはオーラルフレイルの危険性があります。口腔ケアや口腔リハビリで改善しましょう。

オーラルフレイル チェックシート	
<input type="checkbox"/>	奥歯でしっかりと噛めない
<input type="checkbox"/>	噛むと歯に痛みや違和感を感じる
<input type="checkbox"/>	以前と比べて固いものが食べにくくなった
<input type="checkbox"/>	食べこぼしをすることが増えた
<input type="checkbox"/>	むせやすくなった
<input type="checkbox"/>	口が乾燥している
<input type="checkbox"/>	滑舌が悪くなった
<input type="checkbox"/>	1日に歯を磨く回数が0～1回
<input type="checkbox"/>	定期的に歯医者に行っていない
<input type="checkbox"/>	外出する機会が少なくなった

さて、当院の通所リハビリテーションでも、リハビリテーション・栄養・口腔の一体的なサービスに取り組んでいます。リハビリ専門職によるリハビリテーションの実施、管理栄養士による栄養の評価・指導、看護師・言語聴覚士による口腔機能の評価・指導を定期的に行っています。

病気などが原因で、口腔機能が低下した方へのリハビリテーションの実施や自主練習方法の指導のみならず、利用者の皆様の状態を評価させていただき、フレイルやオーラルフレイルにならないよう、支援させていただいています。身体のことのみならず、日々の栄養や口の状態についてもお気軽にご相談ください。

いつまでもおいしく食べて、楽しくおしゃべりができるよう、口の健康を保ちましょう。

虚弱 (Frailty)
↓
フレイル

- ① 中間の時期 (健康と要介護の間)
- ② 可逆性 (様々な機能を戻せる)
- ③ 多面的 (色々な側面)

多面的フレイルの【負の連鎖】



▲公益社団法人日本歯科医師会「歯科診療所におけるオーラルフレイル対応マニュアル 2019年版」(東京大学高齢社会総合研究機構・飯島勝矢 作図) を参考に作成

最新MRI装置を導入

廿日市記念病院では2024年3月に最新のキヤノンメディカルシステムズ社製1.5テスラMRI装置「Vantage Gracian」を導入しました。

装置の特徴としてディープレニングを利用した画像再構成技術により、従来の装置に比べ、より短時間で高画質の画像を撮像することが出来ます。また造影剤を使用せずに全身の血管が抽出可能で、通常の撮影では評価困難な脳動脈瘤ネッククリッピング術後の脳血管も、金属の影響を受けることなく評価が可能となります。更に、一般的に騒々しい音が出るMRI検査ですが、静音化技術により検査音を抑制し、不快感を和らげ快適に検査を受けることが出来ます。この装置の導入により、より精密で充実したMRI検査を提供出来るようになりました。

一般の方向けに脳ドックも開始しています。脳の検査を一度も受けたことのない方は、ぜひ当院の最新MRIでの脳ドック受診をおすすめします。廿日市記念病院に受診され

た方で検査目的等によっては、廿日市記念病院での検査をおすすめする場合があります。両病院のMRI装置を最大限に活用し、より良い画像診断材料を提供出来るよう努力していきたいと思えます。

ご不明な点がございましたら画像診断技術科までお尋ねください。



▲ キヤノンメディカルシステムズ社製
1.5テスラMRI装置「Vantage Gracian」

一般向け 脳ドック開始

これまで、廿日市市から委託を受け、廿日市市の国民健康保険の被保険者の方のみ脳ドックを行っていましたが、2024年3月から一般の方向けの脳ドックも開始いたしました。

脳ドックの目的は、自覚症状が出ない段階で、脳や脳血管の病気あるいはその危険を発見し、病気の発症あるいは進行を予防することです。

コースは、早くて安いファスト脳ドック(頭部MRI・MRA、頸部MRA)、スタンダード脳ドック(ファスト脳ドック+身体測定、頸動脈エコー、長谷川式簡易知能評価)の2種類で、一般の方でも受診しやすい内容となっております。(※オプションとして、内臓脂肪測定、肺癌検診(CT)も行っております。)

今年、3月に新しくMRIも更新し、検査機器もより充実しております。

是非、皆様も当院脳ドックを受診してみませんか。

MRI装置が新しくなりました！
脳の健康管理をしませんか？

特に、このような方にはおすすめ！

- 脳卒中危険因子を有する方
高血圧・糖尿病・脂質異常症・肥満など
- 喫煙する方
- 30歳以上で、脳の検査を受けたことがない方
- ご家族やご親戚に脳血管疾患の既往がある方
- 事業ドライバーの方 (広島県トラック協会助成対象)
(広島県バス協会助成対象)

当院の脳ドックについては

	ファスト脳ドック	スタンダード脳ドック	廿日市市国民健康保険脳ドック
身長・体重・血圧・腹囲	●	●	●
視力	●	●	●
頭部MRI・MRA	●	●	●
頸部MRA	●	●	●
頸動脈エコー	●	●	●
長谷川式簡易知能評価	●	●	●
内臓脂肪測定	▲	▲	●
肺がん検診 (CT)	●	●	●

▲●オプション (標準額中込)

コース料金	ファスト脳ドック	スタンダード脳ドック	廿日市市国民健康保険脳ドック
コース料金	20,000円	25,000円	13,240円
オプション料金	▲ 内臓脂肪測定 2,000円	● 肺がん検診 (CT) 8,000円	

● 完全予約制となります。お電話またはホームページよりお申し込みください。
● 検査結果は、約2週間後に郵送にてお届けいたします。ご希望により、ご来院いただいで医師による説明も可能です。

2024.04

02 | 新入職員研修

清風TOPICS

五日市記念病院 技術部 リハビリ技術科 岡本 聖真

3日間の新入職員研修は「清風会」の職員としての責任の重さをしっかりと受け止め、我々新入職員に対しての大きな期待を感じ身の引き締まる時間でもありました。

病院の理念や役割を学ぶ中で、「社会に望まれる医療の実現のために私たちに出来ることは」をテーマにしたグループ発表は特に印象的でした。他職種連携の重要性を実感する中、実際にこれから同期として働くことになる仲間のそれぞれの職種の専門性への理解を深め、またそれぞれの立

宿泊研修では、社会人としてのマナー、病院の理念や特徴について学ぶことが出来ました。自分が就職した病院の理解を深めることで、これから自分がどのような姿勢で業務にあたるべきか明確化することが出来ました。また、研修中のグループワークやコミュニケーションを通して、多職種の同期たちと自然に打ち解けることも出来、仕事をする上での心強い関係作りができたと感じました。

看護師ローテーション研修では、五日市・廿日市記念病院のほとんどの病棟を体験することが出来ました。説明を

今年にはコロナ制限措置の緩和に伴い、3日間の宿泊研修が再開されました。また、看護部では3週間のローテーション研修が行われ各病棟の特徴、患者さんへの関わり、協働など実際に学びました。

研修では法人の理念、病棟ごとの役割、社会人としての心構え、コミュニケーション能力など、今後働く上で役立つ様々なことについて学びました。

私が1番印象に残っているのは、理念にもある『「社会に望まれる医療」とは何か。私たちに出来ること。』の発表に向け、多職種でのグループワークに3日間取り組んだことです。



場からの議論を重ねることに夢中になっていました。

また、私は医療職として人のために尽くさなければならないという考えがありました。ですが、清風会には「1.5人の思いやり」や「自分のために働く」という心得があり、自分自身を思いやることで心に余裕が生まれ、結果的に他の人への思いやりにつながると分かり、考えを改めるきっかけとなりました。

清風会の一員として働く中で、新入職員研修で学んだことを心にとどめながら一層頑張っていきたいと思います。

廿日市記念病院 看護部 看護科 亀山 由紀子

聞くだけでなく、実際にその現場に入らせていただいたことで、自分が看護をする上で、どのような環境でどのようなことを重視し働いていきたいのか明確化することが出来ました。私は、ローテーション研修前にはそれらが漠然としていましたが、終了時には、働きたい病棟を自らの意志で絞ることが出来ました。

これからも、研修で学んだことを忘れず、一步一步成長していけるよう努めていきたいと思います。

五日市記念病院 看護部 看護科 上杉 杏楓

今まで知らなかった各職種の専門知識や視点を共有し合うことで、地域の方々に最善の医療を提供する方法を熟考することが出来ました。また、夕食後の時間などにも課題に取り組むことが出来たのは宿泊の利点でした。病院における多職種協働は、患者さんに対する質の高いケアを提供するために不可欠な要素と考えます。

今回これから支え合う仲間との横のつながりを築くことも出来ました。学んだことを活かし、自分にできることを日々精一杯尽力したいと思います。



論文掲載・学会発表実績

(2023年4月～2024年3月)

【論文】

掲載誌名	論文タイトル	配属	部署	資格	氏名
機関紙『くも膜下出血と脳血管攣縮 Vol.38』	血腫を伴う破裂脳動脈瘤の治療方針とその成績～Sylvian hematoma の治療戦略を中心に～	五日市	診療部	医師	坪井 俊之
脳神経外科速報 vol.34 no.2 2024.3	Paracloind lesion に対する前床突起切除、硬膜輪切開の基本とその応用:血管障害から腫瘍性病変まで	五日市	診療部	医師	坪井 俊之

【全国】

開催日	学会名	演題名	配属	科(課)	資格	氏名
4月21日	第32回 脳神経外科手術と機器学会	軟膜損傷を起こさない半球間裂アプローチの基本手記とその応用	五日市	脳神経外科	医師	坪井 俊之
4月21日	第32回 脳神経外科手術と機器学会	脳神経外科手術の心と技の伝授	五日市	脳神経外科	医師	坪井 俊之
5月26日	第16回 日本緩和医療薬学会年会	薬剤師による緩和ケア病棟看護実習生に対する講義の実施とその有用性	廿日市	臨床薬剤科	薬剤師	富吉 博也
5月27日	日本超音波医学会第96回学術集会	A case of the leftside atria pouch which caused cardiogenic cerebral embolism	五日市	循環器内科	医師	湯谷 剛
6月10日	第25回 日本医薬品情報学会総会・学術集会	電子添文における情報リテラシーを考える～意識調査と教育的指導を通して～	五日市	臨床薬剤科	薬剤師	木村 天祐
6月16日	第26回 日本栓子検出と治療学会(Thrombus学会)	①心原性脳塞栓の原因と考えた乳頭状線維弾性腫と大動脈弓部プラークを外科的切除した1例	五日市	循環器内科	医師	湯谷 剛
6月16日	第42回 日本脳神経超音波学会総会	②左心房中隔ポーチが原因と思われた心原性脳塞栓の2例	五日市	循環器内科	医師	湯谷 剛
6月30日	第28回 日本緩和医療学会	新型コロナウイルス感染症流行下での緩和ケア病棟の面会に関する考察	廿日市	内科	医師	小原 弘之
8月26日	第41回 The Mt. Fuji Workshop on CVD	開頭術にも応用が利く顕微鏡操作を基本とした頸動脈内膜剥離術	五日市	脳神経外科	医師	大庭 秀雄
9月2日	第29回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	経口摂取困難との診断でも食事再開できた誤嚥性肺炎後の廃用症候群の1例	廿日市	外科	医師	吉屋 智晴
9月8日	第71回 日本心臓病学会学術集会	卵円孔閉存症による心原性脳塞栓をきたした高齢オスラー病の1例	五日市	循環器内科	医師	湯谷 剛
9月29日	第28回 日本脳腫瘍の外科学会	《一般演題》 小脳テント髄膜腫の摘出術におけるアプローチ選択の検討	五日市	脳神経外科	医師	坪井 俊之
9月29日	第28回 日本脳腫瘍の外科学会	《シンポジウム》 鞍結節部髄膜腫の摘出術～アプローチの選択と視神経管開放の重要性について～	五日市	脳神経外科	医師	坪井 俊之
10月25日	日本脳神経外科学会第82回学術総会	前脈絡叢動脈分岐部動脈瘤に対する直達術～穿通枝を直視可能なアプローチの工夫と治療成績～	五日市	脳神経外科	医師	坪井 俊之
10月25日	日本脳神経外科学会第82回学術総会	後方循環脳動脈瘤コイル塞栓術時にGuidepostを用いた造影の工夫	五日市	脳神経外科	医師	坂本 繁幸
10月25日	日本脳神経外科学会第82回学術総会	“破裂のう状脳動脈瘤症例の女性化・高齢化・小型化”～日本脳卒中データベースの解析結果より～	五日市	脳神経外科	医師	大庭 秀雄
10月26日	令和5年度看護研究発表会	呼吸器リハビリテーションについて?	五日市	回復期リハビリ病棟	看護師	吉本 知華
10月26日	リハビリテーション・ケア合同研究大会広島2023	当院回復期リハビリテーション病棟におけるICFを用いたカンファレンスシート運用開始と取り組み-入棟時FIMの関連性を踏まえて-	五日市	リハビリ技術科	理学療法士	中川 敬久
10月26日	リハビリテーション・ケア合同研究大会	前医にて経口摂取困難と診断されても食事可能となった誤嚥性肺炎後の廃用症候群の1例	廿日市	外科	医師	吉屋 智晴
10月26日	リハビリテーション・ケア合同研究大会広島2023	経管栄養から経口摂取への早期移行～病棟での取り組みについて～	廿日市	回復期リハビリ病棟	看護師	佐伯 尚美
10月26日	リハビリテーション・ケア合同研究大会広島2023	当院の嚥下チームの取り組みについて～嚥下チームラウンドチェック～	廿日市	リハビリ技術科	理学療法士	河村 考真
10月26日	リハビリテーション・ケア合同研究大会広島2023	2018年に導入した転倒転落予防ピクトグラムの効果検証で見えてきたこと	廿日市	リハビリ技術科	作業療法士	佐々田 由喜
11月3日	第7回 日本リハビリテーション医学会秋季学術大会	ウェルウォークを用いた亜急性期患者の歩行自立の可否に影響を及ぼす因子の検討	五日市	リハビリ技術科	理学療法士	穴戸 健一郎
11月17日	第24回 フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 広島	働きたくなる環境を目指した業務改善	五日市	臨床薬剤科	薬剤師	奥本 絵美
11月17日	第24回 フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 広島	『再加熱プラストチラー』導入による給食従事者の勤務形態の改善	五日市	臨床栄養管理科	管理栄養士	磯部 朋美
11月23日	第39回 日本脳神経血管内治療学会学術集会	5-10mm未破裂脳動脈瘤に対する脳血管内治療:フローダイパーター留置術とステント併用コイル塞栓術の比較	五日市	脳神経外科	医師	坂本 繁幸
11月23日	第39回 日本脳神経血管内治療学会学術集会	感染性心内膜炎に合併した血栓化脳底動脈瘤に対してFREDによるFlow Diverter治療を施行した一例	五日市	脳神経外科	医師	梶原 洋介
11月23日	第39回 日本脳神経血管内治療学会学術集会	上肢動脈経由DSAで内頸動脈撮影を行う際の我々の工夫～Carnelian HF の有用性～	五日市	脳神経外科	医師	大庭 秀雄

【全国】

開催日	学会名	演題名	配属	科(課)	資格	氏名
1月27日	第17回 日本性差医学・医療学会学術集会	女性がライフイベントを乗り越えて「手術を追求する」脳神経外科医であり続けるために	五日市	脳神経外科	医師	宮崎 裕子
2月1日	第2回 日本脳神経減圧術学会	nerve combing により改善をみた petrosal vein の圧迫による三叉神経痛の一例	五日市	脳神経外科	医師	坪井 俊之
3月7日	STROKE 2024	傍鞍部動脈瘤の直達術 ～前床突起削除と硬膜輪の全周性の開放～	五日市	脳神経外科	医師	坪井 俊之
3月7日	STROKE 2024	5-10mm未破裂脳動脈瘤に対する フローダイバーター留置術の短期成績	五日市	脳神経外科	医師	坂本 繁幸
3月7日	STROKE 2024	破裂脳動脈瘤に対する直達術の役割 ～スパズム予防のための積極的脳槽血腫洗浄の有用性と治療成績～	五日市	脳神経外科	医師	宮崎 裕子
3月7日	STROKE 2024	予防医学としての頸動脈内膜剥離術の水準とは ～薬物治療・血管内治療全盛の時代に求められる直達術の深化～	五日市	脳神経外科	医師	大庭 秀雄
3月7日	第53回 日本脳卒中の外科学会	感染性心内膜炎に合併した症候性血栓化脳底動脈大型瘤に対してFREDによるFlow Diverter治療を施行し、症状が著明に改善した一例	五日市	脳神経外科	医師	梶原 洋介

【地方】

開催日	学会名	演題名	配属	科(課)	資格	氏名
4月1日	第95回 日本脳神経外科学会中国支部学術集会	Diploic Vein 切断に伴う予想外の静脈拘束を経験した脳動脈瘤クリッピング術について	五日市	脳神経外科	医師	大庭 秀雄
5月21日	第23回 日本死の臨床研究会中国・四国支部大会	骨転移と適応障害で実存的な苦痛の対処に難渋した膵頭部がんの一例	廿日市	内科	医師	小原 弘之
5月27日	第11回 脳神経外科道～瀬戸内脳神経外科手術手技学会～	実はディスオリエンテーションになっていたことを後で一人反省した中大脳動脈瘤の一典型例	五日市	脳神経外科	医師	大庭 秀雄
6月10日	第4回 山陰・山陽 若手医師脳神経外科手術動画セミナー	小脳テント髄膜腫におけるアプローチの検討	五日市	脳神経外科	医師	坪井 俊之
6月10日	第4回 山陰・山陽 若手医師脳神経外科手術動画セミナー	手術の反省の仕方の一例 ～中大脳動脈瘤の一典型例から～	五日市	脳神経外科	医師	大庭 秀雄
8月26日	第5回 日本緩和医療学会中国四国支部学術大会	がん性髄膜炎による難治性の頭痛に ケタミン塩酸塩が有効であった進行乳がんの一例	廿日市	内科	医師	小原 弘之
9月1日	第37回 中国四国脳腫瘍研究会	小脳テント髄膜腫の摘出術におけるアプローチ選択の検討	五日市	脳神経外科	医師	坪井 俊之
9月2日	第25回 中国四国脳卒中研究会	膳脈絡叢動脈分岐部動脈瘤の開頭クリッピング術 ～術前画像診断で抽出されない分枝が存在した2症例の検討～	五日市	脳神経外科	医師	坪井 俊之
9月2日	第25回 中国四国脳卒中研究会	頸動脈内膜剥離術の術中所見から塞栓源が 外頸動脈にあると判断された動脈原性塞栓症の一例	五日市	脳神経外科	医師	大庭 秀雄
9月2日	第36回 中国ブロック理学療法士学会	急性期脳卒中後の痙縮に対する理学療法介入 -発症後に痙性運動障害を認めた一症例-	五日市	リハビリ技術科	理学療法士	米原 希
10月21日	第5回 山陰・山陽 若手脳神経外科手術動画セミナー	当施設における術者教育の実態	五日市	脳神経外科	医師	坪井 俊之
10月21日	第5回 山陰・山陽 若手脳神経外科手術動画セミナー	Sylvian Dissectionに見出した摂理 ～典型例と難渋例の対比から～	五日市	脳神経外科	医師	大庭 秀雄
11月11日	第12回 脳神経外科道～瀬戸内脳神経外科手術手技研究会～	当院でのフィコンパの使用経験	五日市	脳神経外科	医師	宮崎 裕子
11月11日	第12回 脳神経外科道～瀬戸内脳神経外科手術手技研究会～	五日市記念病院での3年間の修行を振り返って	五日市	脳神経外科	医師	大庭 秀雄
11月25日	第54回 日本消化器がん検診学会 中四国地方会	出張大腸CTトレーニング	五日市	画像診断技術科	放射線技師	竹本 幸平
12月2日	第96回 日本脳神経外科学会中国四国支部学術集会	五日市記念病院の頸動脈内膜剥離術の治療成績について	五日市	脳神経外科	医師	大庭 秀雄

【県内】

開催日	学会名	演題名	配属	科(課)	資格	氏名
12月16日	第27回 広島県理学療法士学会	脳卒中理学療法における 下肢装具の具体的な知識と使い方	五日市	リハビリ技術科	理学療法士	穴戸 健一郎
12月16日	第27回 広島県理学療法士学会	被殻出血後患者の歩行対称性における 時間的因子に着目した一症例	五日市	リハビリ技術科	理学療法士	三好 大樹
2月4日	第29回 広島県作業療法士学会	クリニカルクラークシップでの臨床実習を 再考・実践して得たこと	廿日市	リハビリ技術科	作業療法士	佐々田 由喜
2月17日	広島県看護協会 広島西支部令和5年度 看護研究発表会	インシデントレポートの分析から見た 入院中の血液内科の転倒	五日市	急性期病棟	看護師	金澤 菜津美
2月18日	第49回 広島県病院学会	再加熱プラスチック導入による 休職従事者の勤務形態及び患者満足度の向上	五日市	リハビリ技術科	管理栄養士	竹廣 聡美
2月18日	第49回 広島県病院学会	コロナ禍の年末年始救急(定点診療)における 来院前AI問診などを活用した取り組み	五日市	診療情報管理課	事務	中島 彩
2月18日	第49回 広島県病院学会	シームレスな転院支援に向けた 送迎サービスの導入について	廿日市	看護部	看護師	高橋 直美

統計情報

五日市記念病院

手術実施件数 (2023年)

総手術件数: 461件 (2022年: 335件)

予定手術: 353件	緊急手術: 108件
全身麻酔: 205件	局所麻酔: 256件

●脳神経外科(開頭術・他)

手術名	件数
脳動脈瘤クリッピング術(破裂4、未破裂22)	26
脳腫瘍摘出術	8
内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍摘出術	1
バイパス術	2
脳室ドレナージ術	5
開頭血腫除去術	7
慢性硬膜下血腫穿頭洗浄術	57
シャント術	5
微小血管減圧術(顔面痙攣2、三叉神経痛2)	4
頸動脈内膜剥離術(CEA)	35
その他の手術	8
小計	158

●脳神経外科(血管内手術)

手術名	件数
脳動脈瘤コイル塞栓術	15
脳動脈瘤フローダイバーター留置術	25
経皮的血管拡張術(脳血管3)	19
頸動脈ステント留置術(CAS)	35
経皮的脳血管形成術	16
急性期血行再建術	22
硬膜動静脈瘻塞栓術	8
脳腫瘍塞栓術	4
小計	144

●脳神経外科(脊椎 末梢神経)

手術名	件数
手根管開放術	5
椎弓切除術	13
経皮的椎体形成術	1
神経剥離術	2
椎弓形成術	6
椎間板摘出術	1
脊椎固定術(前方1、後方4)	5
小計	33

●内視鏡手術

手術名	件数
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	39
内視鏡的消化管止血術	1
その他	3
小計	43

●腹腔鏡手術

手術名	件数
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	31
腹腔鏡下胆嚢摘出術	16
腹腔鏡下虫垂切除術	1
胃瘻造設術(経皮的内視鏡下を含む)	18
その他	14
小計	80

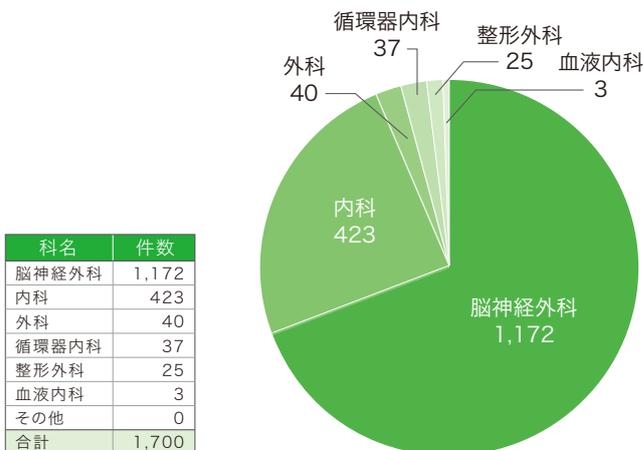
●整形外科

手術名	件数
腱鞘切開術	1
ガングリオン摘出術	1
人工骨頭挿入術(股)	1
小計	3

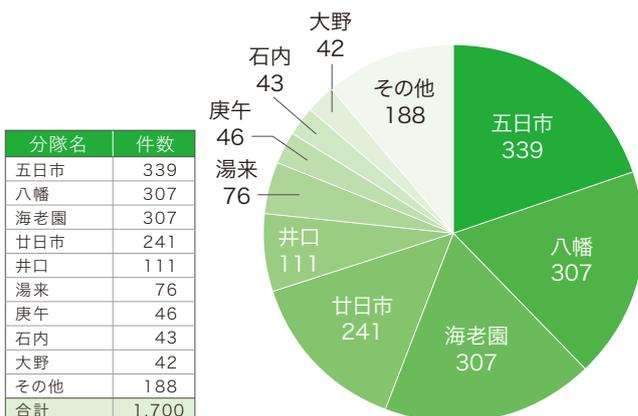
合計	461
----	-----

救急搬入者数 1,700件 (2022年: 1,716件)

科別搬入者数



救急隊別搬入者数



入院患者延べ数 (2023年)

●急性期一般病床

科名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
脳神経外科	623	631	677	665	608	720	679	737	579	560	678	754	7,911
内科	105	117	121	109	135	138	157	146	198	230	100	199	1,755
外科	264	241	260	290	267	255	255	223	219	231	307	225	3,037
循環器内科	176	147	166	177	243	227	235	214	212	288	339	324	2,748
血液内科	672	608	689	641	580	585	578	603	579	604	656	696	7,491
整形外科	74	74	89	43	38	10	7	22	9	64	88	96	614
計	1,914	1,818	2,002	1,925	1,871	1,935	1,911	1,945	1,796	1,977	2,168	2,294	23,556

●地域包括ケア病床

科名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
脳神経外科	43	74	107	83	40	37	19	1	38	34	5	56	537
内科	211	162	240	276	275	254	246	352	290	286	365	284	3,241
外科	144	85	67	58	134	201	59	31	116	135	103	108	1,241
循環器内科	130	221	263	213	271	233	406	259	175	214	132	164	2,681
血液内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20
整形外科	39	118	147	99	68	65	49	148	112	102	140	40	1,127
計	567	660	824	729	788	790	779	791	731	771	745	672	8,847

●回復期リハ病棟

科名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
脳神経外科	1,227	966	1,054	1,033	1,139	1,230	1,047	948	866	825	784	877	11,996
内科	198	144	288	280	303	269	211	324	546	539	330	202	3,634
外科	282	289	363	437	453	322	370	398	419	442	353	412	4,540
循環器内科	356	523	444	252	190	84	125	221	313	297	385	316	3,506
血液内科	2	0	0	0	0	0	0	0	0	19	22	24	67
整形外科	145	112	151	187	182	291	383	393	29	50	151	351	2,425
計	2,210	2,034	2,300	2,189	2,267	2,196	2,136	2,284	2,173	2,172	2,025	2,182	26,168

外来患者延べ数 (2023年)

科名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計	平均
脳神経外科	1,078	967	1,184	1,143	1,126	1,212	1,140	1,155	1,188	1,168	1,154	1,153	13,668	1,139
内科	1,242	722	819	787	812	797	850	908	886	809	831	1,019	10,482	874
外科	117	73	91	80	101	95	101	107	79	80	88	77	1,089	91
循環器内科	503	504	563	553	532	547	520	590	506	481	541	530	6,370	531
血液内科	341	333	374	283	313	307	311	332	328	320	290	346	3,878	323
整形外科	73	75	84	106	88	113	128	151	109	160	229	232	1,548	129
心臓血管外科	7	9	13	9	6	6	7	8	11	8	12	4	100	8
訪問診療	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	10	15	5
計	3,361	2,683	3,128	2,961	2,978	3,077	3,057	3,251	3,107	3,028	3,148	3,371	37,150	3,096

廿日市記念病院

入院患者延べ数 (2023年)

●緩和ケア病棟

科名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	101	77	114	75	60	40	69	63	95	72	91	113	970
内科	448	394	468	509	533	509	543	424	390	482	540	530	5,770
計	549	471	582	584	593	549	612	487	485	554	631	643	6,740

●回復期リハ病棟

科名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
脳神経外科	1,220	1,150	1,291	1,325	1,368	1,199	1,176	1,173	1,224	1,291	1,305	1,313	15,035
外科	310	406	452	381	316	310	341	396	414	372	233	367	4,298
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,530	1,556	1,743	1,706	1,684	1,509	1,517	1,569	1,638	1,663	1,538	1,680	19,333

●療養病棟

科名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
脳神経外科	45	78	119	120	124	80	97	151	99	140	130	180	1,363
外科	1,010	872	964	903	868	837	924	860	863	963	964	952	10,980
内科	62	56	46	34	38	30	31	31	30	33	30	31	452
計	1,117	1,006	1,129	1,057	1,030	947	1,052	1,042	992	1,136	1,124	1,163	12,795

外来患者延べ数 (2023年)

科名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計	平均
脳神経外科	336	327	357	335	351	372	353	369	361	358	343	364	4,226	352
内科	80	76	88	76	80	72	86	89	73	89	77	86	972	81
外科	18	19	22	15	7	16	13	20	12	13	12	14	181	15
呼吸器科	74	79	76	83	70	82	97	78	73	88	82	93	975	81
循環器科	50	41	43	52	47	51	44	43	70	50	55	36	582	49
整形外科	3	0	6	0	0	0	0	0	0	1	3	12	25	2
計	561	542	592	561	555	593	593	599	589	599	572	605	6,961	580

第47回日本脳神経財団 市民講演会 脳を守ろう！in 広島

日本脳神経財団主催の市民講演会を開催いたします。匠の手を持つ脳外科医でテレビなどでおなじみの上山博康医師が登壇いたします。

また、当日の開演前と休憩中には、はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”のみなさんによる演奏がごさいます。

日程：2024年10月26日(土) 会場：ウッドワン廿日市文化ホール(小ホール)
時間：開場13:30/開演14:00 参加：入場無料

※専用駐車場はございませんので、公共交通機関でご来場いただきますようお願い申し上げます。



清風会presents 健康ラジオ カルム ～延ばそう！健康寿命～

2024年4月よりラジオ番組の放送を開始しました。

人生百年をその人らしく生きるため、みなさんの健康寿命を延ばすため、清風会の職員が健康に関するさまざまなテーマでお話しています。

ラジオ放送はPC・スマートフォンからもお聴きいただけます。過去の放送は、法人のラジオ番組ページやFMはつかいちの専用ページから何度でもお聴きいただけます。

また、ラジオ収録の様子は各病院のフェイスブック・インスタグラムでご紹介していますので、ぜひご覧ください。



番組名 健康ラジオ カルム～延ばそう！健康寿命～
放送日時 第1・第3月曜日11:00～11:30
放送局 FMはつかいち (76.1MHz) <https://761.jp>

FMはつかいち
専用ページ



社会医療法人清風会
専用ページ



局長 倉本良一さんのコメント

『健康ラジオ カルム～延ばそう健康寿命～』は地域にとって大変貴重な健康のための番組です。

開局当初からFMはつかいちを応援して下さっているリスナーからも「ええ番組じゃね!」とのお声も頂きました。

地域でも「健康」に対する想いがさらに広まり、「まんぶく倉ちゃん」として活動する自分もいちリスナーとして番組を聴いていつまでも美味しく食べて、健康寿命を延ばせるように頑張ります!



▲「まんぶく倉ちゃん」として活動する倉本良一さん

廿日市 記念病院 のご案内

心を重視したホスピスと 総合リハビリテーション病院

所在地 廿日市市陽光台五丁目12番 TEL:0829-20-2300

診療科目 脳神経外科、内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、
リハビリテーション科、整形外科

総病床数 126床(回復期リハビリ病棟60床、療養病棟42床、
緩和ケア病棟24床)

外来診療時間 午前9時～午後1時(受付時間:午前8時30分～午後12時30分)

休診日 土曜日・日曜日・祝日、8月15日、年末年始(12/30～1/3)

●外来診療スケジュール並びに担当医師

(2024(令和6)年8月1日現在)

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
午前	脳神経外科	茶木 梶原	浅野	浅野 茶木	國吉 梶原※1	浅野
	内科		俵	小原	小原	
	循環器内科		免出※2		山本	
	呼吸器内科	下地				川本
	外科				高橋	
	整形外科					井上※3
午後	緩和ケア外来※4	交替制※5	小原	交替制※5	交替制※5	小原

※1 第2木曜日のみ診療となります。 ※2 火曜日の循環器内科の診療は、10時からとなります。 ※3 金曜日の整形外科の受付は、12時まで(初めの方は11時30分まで)となります。 ※4 緩和ケア外来は完全予約制で、緩和ケア病棟入院の為の診療を行っています。 ※5 担当医は交替制です。

最新の
外来受診の
スケジュールは
こちらから



診療担当医師のご紹介

脳神経外科

院長 茶木 隆 寛 (昭和58年愛媛大学卒)
病院相談役 浅野 拓 (昭和48年岡山大学卒)
(前院長) 國吉 毅 (昭和61年香川大学卒)
高柿 尚 始 (平成14年広島大学卒)
梶原 四 郎 (昭和47年広島大学卒)

外科

吉屋 智 晴 (平成14年広島大学卒)
高橋 元 (平成20年広島大学卒)

整形外科

井上 博 幸 (昭和54年愛知医科大学卒) ※
室山 俊 則 (平成元年高知大学卒) ※

内科

緩和ケア病棟 小原 弘 之 (平成3年山口大学卒) ※
施設長 俵 正 幸 (平成4年長崎大学卒) ※

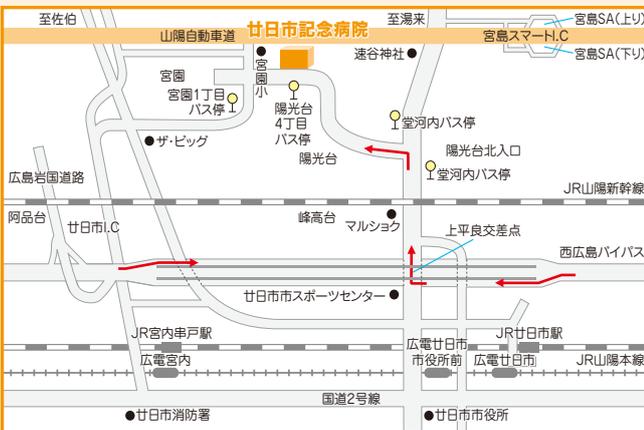
循環器内科

免出 朗 (平成11年山梨大学卒) ※
山本 秀 也 (昭和63年広島大学卒) ※

呼吸器内科

川本 数 真 (平成28年近畿大学卒) ※
下地 清 史 (平成24年広島大学卒) ※

※印:非常勤医師 (2024(令和6)年8月1日現在)



アクセス

家用車

来院者用駐車場62台(無料)
JR宮内串戸駅または広電宮内駅より10分

公共交通機関

●JR宮内串戸駅よりバス

さくらバス(宮内ルート)
陽光台4丁目バス停下車、徒歩1分

広電バス 宮園・四季が丘線
陽光台4丁目バス停下車、徒歩1分
宮園1丁目バス停下車、徒歩10分

●広電廿日市市役所前駅よりバス

さくらバス(宮内ルート/阿品台ルート)
陽光台4丁目バス停下車、徒歩1分

広電バス 宮園・四季が丘線
陽光台4丁目バス停下車、徒歩1分
宮園1丁目バス停下車、徒歩10分

廿日市記念病院 脳ドックのご案内

■ドックコース

- A ファスト脳ドック 20,000円
- B スタンダード脳ドック 25,000円
- C 廿日市市国民健康保険脳ドック※ 13,240円
※△/◇のオプションは付けられません。

■オプション

- ◇肺癌健診(肺CT検査)..... 8,000円
- △内臓脂肪測定(CTによる)..... 2,000円

△/◇ = オプション(要事前申込)

※頸動脈エコーは、頸部に超音波をあててみることで、血流の速さや血管壁の厚さ、狭窄があるかどうかなどから、どのような血液の流れか、動脈硬化がどの程度かを把握することが可能です。頸動脈エコーによって動脈の最新の状態を知ることが出来ます。

検査項目	脳ドック		
	ファスト	スタンダード	廿日市国保
身長・体重・血圧・腹囲		○	○
視力		○	○
頭部MRI・MRA	○	○	○
頸部MRA	○	○	○
頸動脈エコー※		○	○
長谷川式簡易知能評価		○	○
内臓脂肪測定	△	△	
肺癌検診(CT)	◇	◇	

- ・完全予約制となります。お電話またはホームページよりお申し込みください。
- ・検査結果は、約2週間後に郵送にてお届けいたします。ご希望により、ご来院いただいで医師による説明も可能です。

ドックについての お申し込み・お問い合わせ

1階事務室内
ドック・検診担当者
までご連絡下さい。



TEL 0829-20-2300(代表)

FAX 0829-20-2301

五日市 記念病院 のご案内

一次脳卒中センター(PSC)[※]

脳神経外科を中心に 全身管理のできる急性期救急病院

- 所在地** 広島市佐伯区倉重一丁目95番地 TEL:082-924-2211
- 診療科目** 脳神経外科、血液内科、内科、循環器内科、神経内科、消化器内科、外科、消化器・内視鏡外科、整形外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、脳ドック・血管ドック
- 総病床数** 180床(急性期一般病棟54床、SCU6床、地域包括ケア病棟33床、回復期リハビリ病棟40床、地域包括医療病棟47床)
- 外来診療時間** 午前9時～午後1時(受付時間:午前8時30分～午後12時30分)
午後2時30分～午後5時30分(受付時間:午後2時～午後5時)
- 休診日** 土曜日午後・日曜日・祝日、8月15日、年末年始(12/29午後、12/30～1/3、1/4午後)
但し、12/31～1/3までは年末年始定点診療を実施

最新の
外来受診の
ご案内は
こちらから



● 外来診療スケジュール並びに担当医師

(2024(令和6)年8月1日現在)

		月曜		火曜		水曜		木曜		金曜		土曜
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
脳神経外科	初診	大庭		宮崎		交替制		宮崎		坂本		第1 瀬山(剛) ^{※1} 第2・4・5 光原 第3交替制
	再診	坪井 梶原(洋)		向田 坪井		國吉 梶原(四)		梶原(洋) 坂本	第2・4 高柿 ^{※2}	向田	第1・3 光原 ^{※3}	第1～4 大庭 第5 向田
内科		初鹿 藤田	藤田	黒木 松尾	印具	俵 印具	松尾	印具	俵	俵 松尾	印具	瀬山(敏) 第1・3・5 みやざき
神経内科								みやざき				
循環器内科		湯谷		山本 林		免出		免出		湯谷		第2・4 山本
血液内科			許		許		許		許		許	許
外科					亀田 ^{※4}							
消化器・ 内視鏡外科			内田 ^{※5}						内田			
整形外科		井上	井上	川西		川西	平松	井上	井上		井上	
心臓血管外科									第3古川			
脳ドック				印具			梶原(四) 印具	検査日	検査日	検査日	検査日	検査日
血管ドック				林 印具				検査日				

※1 第1土曜日午前、瀬山(剛)は機能脳外科外来を行っています。 ※2 ボトックス外来を行っています。 ※3 脊柱外来を行っています。 ※4 大腸・肛門外来を行っています。 ※5 胆石・ヘルニア外来を行っています。

脳神経外科初診外来



アクセス

自家用車

来院者用駐車場141台(無料)
JR五日市駅より10分

公共交通機関

- JR五日市駅北口よりバス
(薬師が丘、彩が丘団地、藤の木団地行き)
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島電鉄楽々園駅よりバス(湯来温泉行き)
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島バスセンターよりバス
(東観音台、薬師が丘、彩が丘団地、藤の木団地行き)
地毛(じげ)バス停下車、徒歩5分
- 広島バスセンターよりバス(四季が丘、阿品台行き)
波出石(はでいし)バス停下車、徒歩3分

※五日市記念病院は、2019(令和元)年9月1日、
日本脳卒中学会より、「一次脳卒中センター
(PSC)」の認定を受けました。



診療担当医師のご紹介

脳神経外科

理事長・院長 向田 一敏 (昭和54年広島大学卒)
副院長・科長 坪井 俊之 (平成9年宮崎大学卒)
脳卒中・血管内治療センター長 坂本 繁幸 (平成9年広島大学卒)
技術部長 梶原 洋介 (平成13年広島大学卒)
宮崎 裕子 (平成20年近畿大学卒)
大庭 秀雄 (平成24年広島大学卒)
國吉 毅 (昭和61年香川大学卒)※
高柿 尚始 (平成14年広島大学卒)※
梶原 四郎 (昭和47年広島大学卒)※
光原 崇文 (平成13年広島大学卒)※
瀬山 剛 (平成17年大分大学卒)※
特別顧問 上山 博康 (昭和48年北海道大学卒)※

内科

科 長 松尾 順子 (昭和62年広島大学卒)
ドック科長 印 眞 誠 (昭和57年自治医科大学卒)
依 正 幸 (平成4年長崎大学卒)
瀬山 敏雄 (昭和50年広島大学卒)※
黒木 ゆり (昭和56年広島大学卒)※
藤田 順子 (昭和63年藤田医科大学卒)※

循環器内科

心臓リハビリセンター長 山本 秀也 (昭和63年広島大学卒)
科 長 湯谷 剛 (平成2年愛媛大学卒)
総合診療科長 免出 朗 (平成11年山梨大学卒)
林 康彦 (昭和47年広島大学卒)※

血液内科

副院長・科長 許 泰一 (昭和52年広島大学卒)

神経内科

在宅診療支援センター長 みやざき 裕子 (平成7年川崎医科大学卒)

消化器内科

初鹿 佳輝 (平成29年広島大学卒)
三田村 祐里 (平成30年愛媛大学卒)
田 利 晶 (昭和54年広島大学卒)※

外科

科 長 亀田 彰 (昭和55年広島大学卒)

消化器・内視鏡外科

診療部長・科長 内田 一徳 (昭和62年大分大学卒)

整形外科

科 長 川西 啓生 (平成17年藤田医科大学卒)
井上 博幸 (昭和54年愛知医科大学卒)※
平松 廣夫 (昭和47年広島大学卒)※

心臓血管外科

古川 智邦 (平成14年広島大学卒)※

※印:非常勤医師 (2024(令和6)年8月1日現在)

五日市記念病院 日本脳ドック学会認定施設 脳・血管ドックのご案内

ドックコース

- A ファスト脳ドック20,000円
- B スタンダード脳ドック25,000円
- C プレミアム脳ドック40,000円
- D 血管ドック55,000円
- E プレミアム血管ドック65,000円
- F 脳+血管ドック80,000円

オプション

- 肺癌検診(肺CT検査) 8,000円
- 内臓脂肪測定(CTによる) 2,000円

- ・ 予約制となっております。
- ・ 血管ドックは毎週木曜日に実施致します。
なお、複数回の来院が必要となります。
- ・ 脳ドックの結果については、約1~2週間後に説明させていただきます。
血管ドックの結果は、約4週間後に説明させていただきます。
(もしくは、ご希望により結果報告書を郵送させていただきます。)
- ・ オプションについて
A・D・Fコースには、内臓脂肪測定(CTによる)が含まれます。
D・E・Fコースには、肺癌検診(肺CT検査)が含まれます。
- ・ 当院は外来診療(一般診療)を行っております。
急患・緊急検査等で若干お待たせすることがございますので、
ご了承下さい。

ドックについてのお申し込み・お問い合わせ

1階事務室内 ドック・検診担当者までご連絡下さい。

TEL 082-924-2211 (代表)

WEB
予約



FAX 082-924-8111

検査項目	脳ドック			血管ドック	プレミアム血管ドック	脳+血管ドック
	ファスト	スタンダード	プレミアム			
	A	B	C	D	E	F
身長・体重・血圧・腹囲		○	○	○	○	○
視力		○	○	○	○	○
聴力			○		○	○
頭部MRI	○	○	○			○
頭部MRA	○	○	○			○
頸部MRA	○	○	○			○
冠動脈CTA				○	○	○
体幹部CT				○	○	○
体幹部CTA				○	○	○
血液検査・尿検査			○	※1	○	○
便潜血			○		○	○
心電図			○	○	○	○
胸部X線			○	○	○	○
骨密度測定			○		○	○
脈波図				○	○	○
眼底検査			○		○	○
※2 頸動脈エコー		○	○	○	○	○
長谷川式簡易知能評価		○	○			○
内臓脂肪測定(CTによる)			○		○	○
肺癌検診(肺CT検査)				○	○	○

※1:採血によるクレアチニン検査のみ

※2:頸動脈エコーは、頸部に超音波をあててみることで、血流の速さや血管壁の厚さ、狭窄があるかどうかなどから、どのような血液の流れか、動脈硬化がどの程度かを把握することが可能です。頸動脈エコーによって動脈の最新の状態を知ることが出来ます。

法人の理念

私たちは『医療は仁術』であり、
『病院はサービス業』であることを忘れず、
『社会に望まれる医療』の実現を目指して、
より良質で、温かく心の通った医療を提供します。

- 私たちは、患者さまを守ります
- 私たちは、思いやりを大切にします
- 私たちは、誠実な医療を目指します
- 患者さまには人格の尊重を、
病気に対しては厳しい目をもって
より良い医療を目指します

年間行事

2024(令和6)年1月～2024(令和6)年7月

1月	1～3日	佐伯区医師会定点診療（広島市年末年始救急医療協力病院・五日市記念病院）
4月	1日	社会医療法人 清風会 入職式
	1～8日	新入職員導入研修
	15日	期末賞与 支給
6月	1日	廿日市記念病院 開院記念日
7月	1日	清風会 開設記念日 五日市記念病院 開院記念日 五日市記念病院病棟編成（急性期一般病棟54床、SCU6床、地域包括医療病棟47床・ 地域包括ケア病棟33床・回復期リハビリ病棟40床）
	6日	清風会法人内学会
	15日	夏季賞与 支給

編集後記

高齢人口の急速な増加に対応するべく、五日市記念病院では、主に高齢の救急患者さんを受け入れる地域包括医療病棟の立ち上げ、また、訪問診療・看護・認定栄養ケアステーションを統合し、在宅診療支援センターを開設いたしました。今後も地域の皆様に望まれる医療・介護を提供出来るよう職員一同精進努力して参りますので宜しくお願いいたします。
(管理本部 総合企画部 塚本 修久)

4月から法人のラジオ番組が始まりました。出演者やお手伝いいただいている職員はもちろんですが、FMはつかいちのみなさんのご協力もあり、なんとか毎月2回の放送ができています。たくさんの方から「聴いたよ」と声をかけていただけてうれしく思っています。これからもリスナーの方々の健康をサポートできるよう頑張っていきます。

(五日市記念病院 事務部 庶務課 藤岡 恵美)

【社会に望まれる医療】の実現を目指し、これまで以上に、【地域社会】と直接的なコミュニケーションを図る活動に力を入れていきたいと思っております。【健康講座】や【イベント】の開催、講師派遣などのご用命があればお気軽にご相談下さい。

(廿日市記念病院 事務部 庶務課 梅田 晶)

社会医療法人
清風会

第73号 2024年8月1日

管理本部

〒731-5156
広島市佐伯区倉重1丁目95番地
TEL (082)943-7725
FAX (082)921-0104
URL <https://www.seifu.or.jp>
E-mail kannri@seifu.net



五日市記念病院

TEL (082)924-2211
FAX (082)924-8111
URL <https://www.seifu.or.jp/imh/>
E-mail imh@seifu.net



廿日市記念病院

TEL (0829)20-2300
FAX (0829)20-2301
URL <https://www.seifu.or.jp/hmh/>
E-mail hmh@seifu.or.jp

